

ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準に関する Q&A

Q ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準について、選考対象期間終了時にクラスステータスが「R」だった場合はどうなりますか？

⇒ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準に沿って選考していきますが、「R」の選手は JPC への推薦およびエントリー等の手続きまでに、「C」を取得する必要があります。その手続きまでに、国際クラスステータスが出場資格基準を満たさなかった場合は推薦順位を取り消すことがあります。

Q 2021 ジャパンパラ陸上競技大会が中止や延期になった場合はハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準についてはどうなりますか？

⇒2021 ジャパンパラ陸上競技大会が中止や延期など、当初の日程に変更が生じた場合には、優先順位の基準については改めて通知を行います。

Q ハイパフォーマンス割当枠の突破期限について、WPA は 6 月(日付未定)としています。しかし、なぜ JIDAF は 4 月 25 日時点での High Performance Ranking の上位から優先順位を付けるのですか？

⇒現在、High Performance Ranking にリストされている T20 選手が、「どこ」で対象記録を出したのかを分析したところ、母国内の大会での記録が有意に出現していました。つまり、T20 選手においては、母国における WPA 公認大会で好記録が出る可能性が高いことが示唆されています。加えて、GP と母国内の大会での記録の出現を比したところ、母国内の大会の方が好記録が出やすい可能性があることも示唆されました。

5 月上旬にパリ GP(フランス)、ノットヴィル GP(スイス)の実施が WPA から公表されています。しかし、今般の新型コロナウイルス感染症の影響から、欧州への渡航のリスクは極めて高い(感染リスク、帰国後自主隔離等)ことを鑑み、両 GP は強化事業計画へ位置づけないこととしました。

以上、母国内の大会での結果優位である分析結果と世界情勢を踏まえ、東京パラリンピック前最後の WPA 公認国内大会になる可能性が高い「ジャパンパラ競技大会」が実施される 4 月 25 日までをハイパフォーマンス割当枠の突破期限としました。